

## フューエルポンプモジュール脱着作業要領

機種名	型式
N-BOX SLASH	JF1

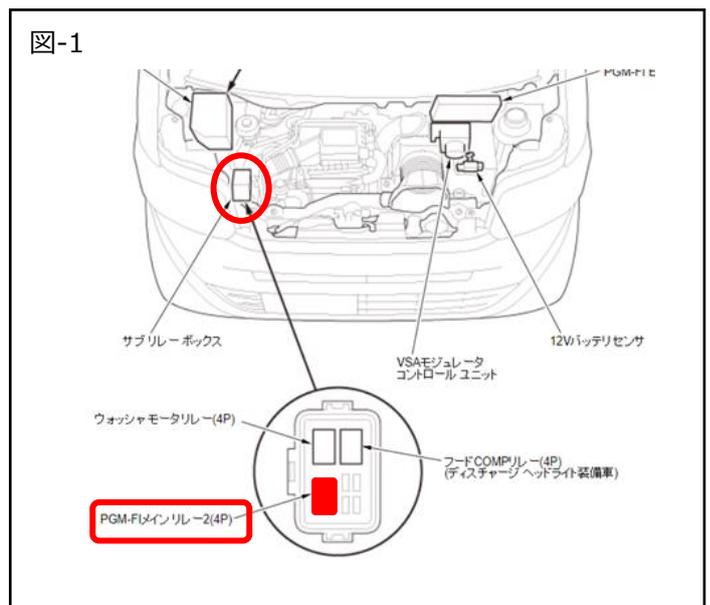
### ■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
JF1	06170-TDE-305

※ N-BOX/N-BOX+の JF1、とは部品が異なりますので、注意してください。

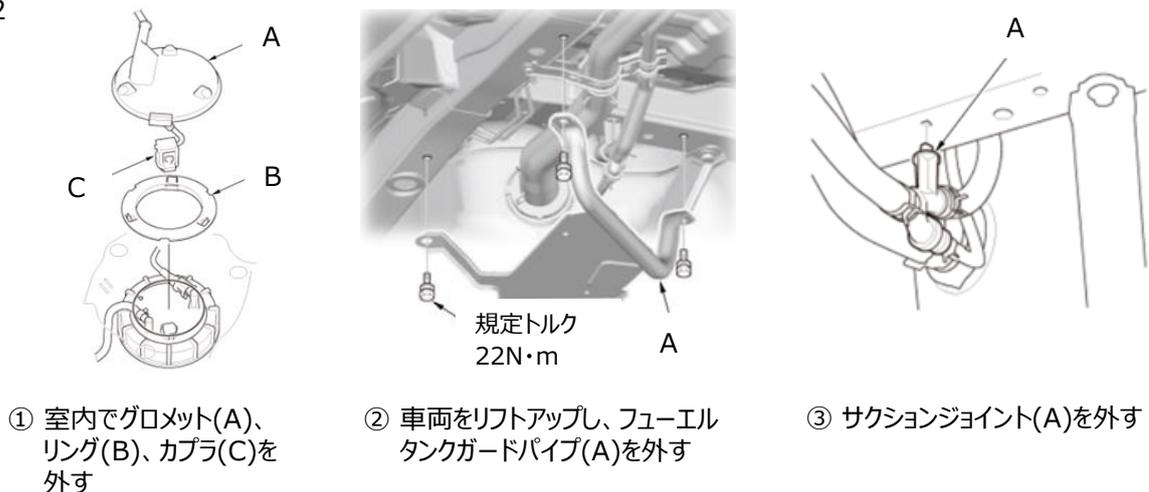
- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー-2を取り外す。

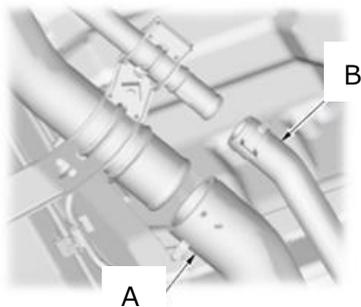
図-1参照



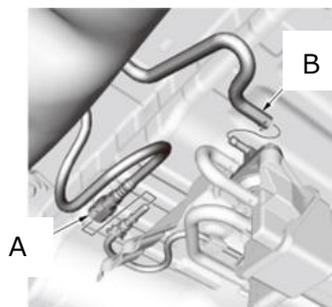
- エンジンを始動し、ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンジン停止したらPOWERスイッチを押しOFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。
- フューエルタンクを取り外す。 図-2参照

図-2

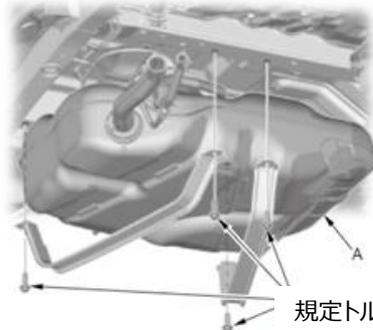




④ フューエルフィルターチューブ (A)とプリーザチューブ (B)を外す



⑤ クイックコネクタ(A)とベントチューブ(B)を外す



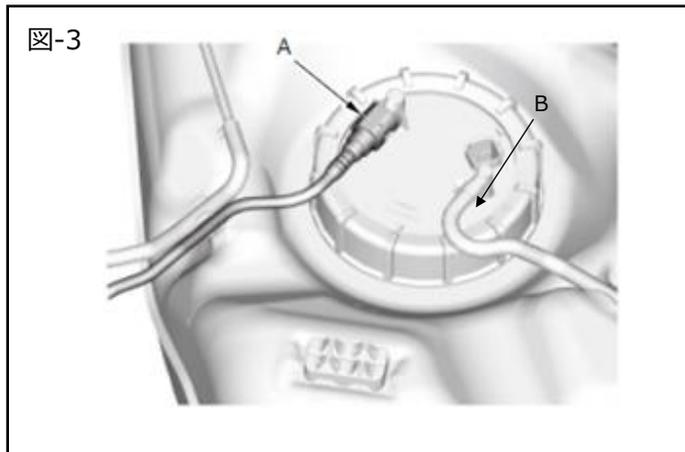
⑥ フューエルタンクをミッションジャッキで支え、タンクマウントバンドを外し、フューエルタンクを取り外す

規定トルク  
38N・m

7. フューエルポンプモジュールからクイックコネクタ(A)とプリーザチューブ(B)を外す。

図-3参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換



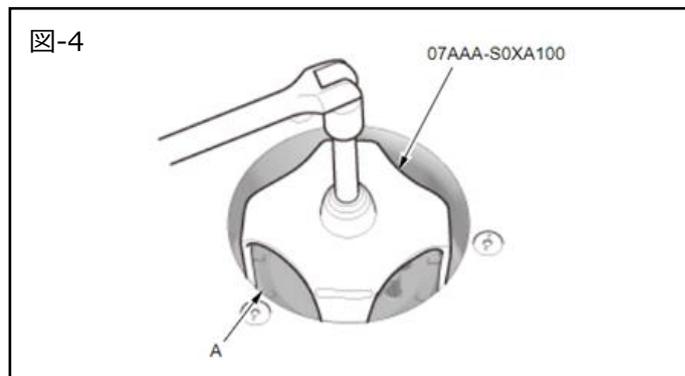
8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット (A)を外す。

図-4参照

※ ロックナットレンチ部番  
07AAA-S0XA100

※ ロックナットは分解時交換



10. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。

図-5参照

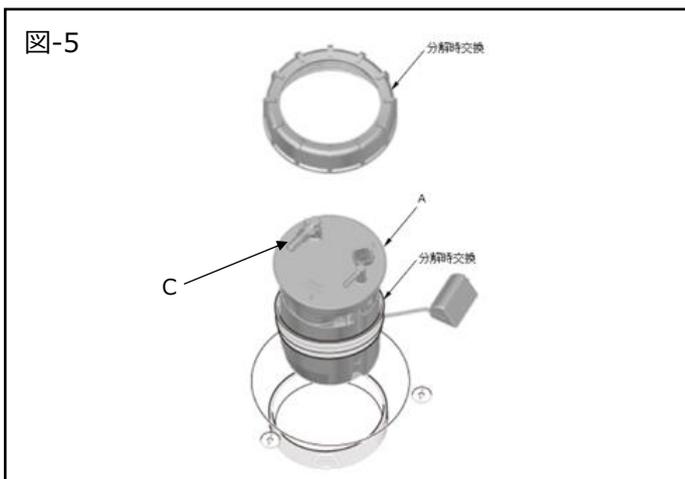
※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと

※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと

※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること

※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る (再使用防止)

※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。



11. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

※ 参照するポンプ交換作業要領 ➡ E

※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。  
図-6参照

※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。



12. フューエルポンプモジュールに新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

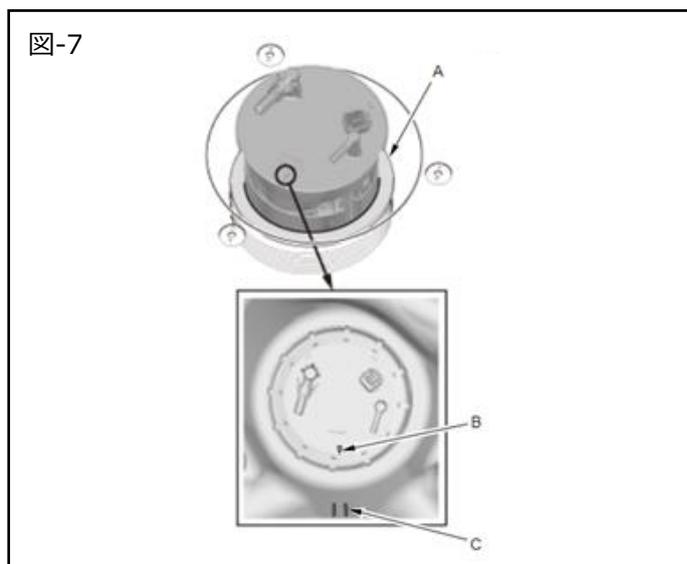
※ パッキンの位置は図-8参照

※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。

13. フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(B)をタンク側の合わせマーク(C)に合わせ、パッキンが密着するまで垂直に押しつける。

図-7参照

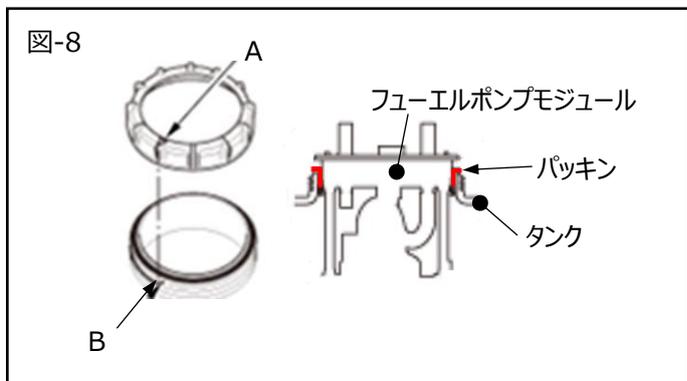
※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。



14. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まりを(B)合わせて、ロックナットを手でねじ込む。  
図-8参照

※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。

※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないように十分に注意すること。



15. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

※ ロックナットレンチ部番  
07AAA-S0XA100

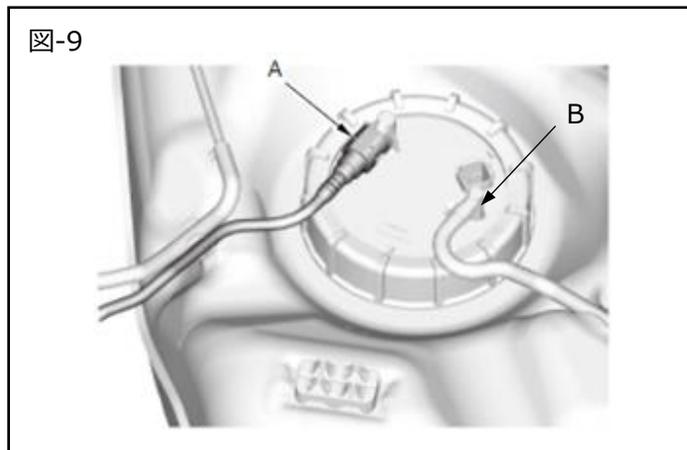
※ ロックナット規定トルク：93N・m

※ ロックナット締め付後、手順13の合わせマークが合っていることを確認すること。

16. クイックコネクタ(A)とプリーザチューブ(B)を接続する。

図-9参照

- ※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込みその後、軽い力で引っ張り、抜けないことを確認すること。



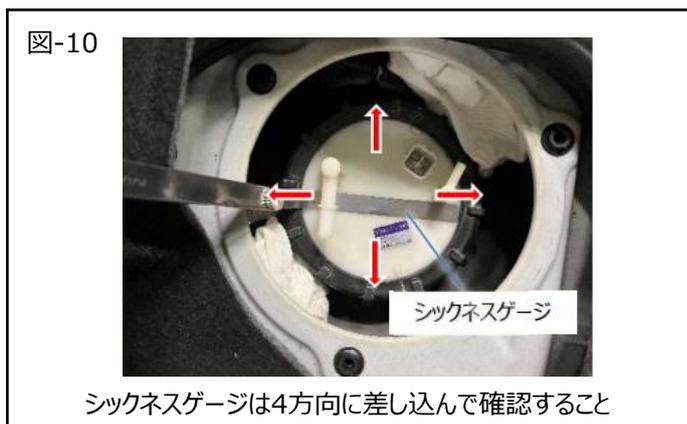
17. 整備主任者に中間検査を依頼する。

18. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタが確実に接続されていることを確認する。
- ② フューエルポンプモジュールとロックナットの間隙にシクネスゲージを差し込み0.04mmが入らないことを確認する。

図-10参照

- ※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合はロックナットが斜めに入っているため、タンク交換が必要となります。



シクネスゲージは4方向に差し込んで確認すること

19. フューエルタンクを分解とは逆の手順で組み付ける。

- ※ 各ボルトは図-2の規定トルクで締付ること。

- ※ 各チューブは確実に接続すること。

20. 室内でフューエルポンプモジュールのカプラを接続する。

21. バッテリーのマイナス端子を接続する。

22. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。

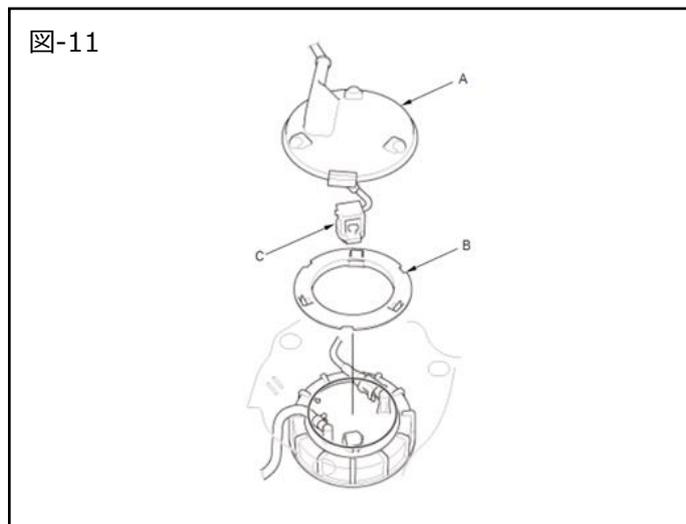
23. 手順22.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

24. 整備主任者に中間検査を依頼する。

25. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
- ② クイックコネクタ、カプラ、バッテリー端子の接続を確認する。
- ③ エンジンを開始し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

26. 手順22.の中間検査が完了後、リング(B)とグロメット(A)を組み付ける。  
フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。  
図-11参照

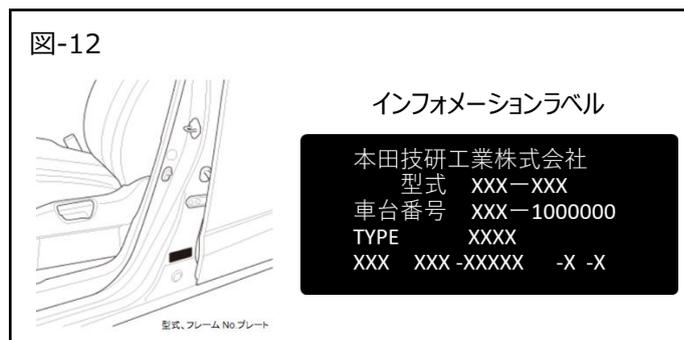


27. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

28. 整備主任者は下記項目を確認する。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

29. インフォメーションラベルの写真を撮影する。  
図-12参照



30. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

31. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順27.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。